

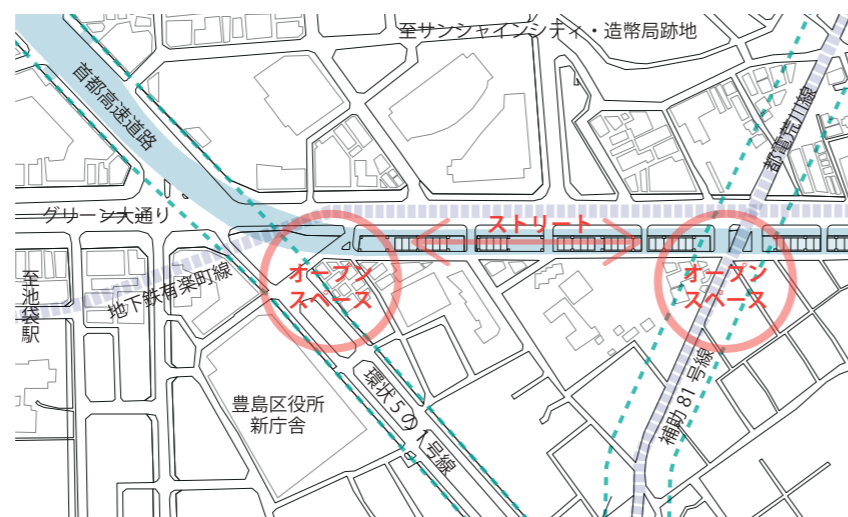


としまアンダーハイウェイ・デザインコンペ 池袋グランイーズ

東池袋駅周辺は、池袋駅周辺の賑わいと閑静な住環境の両方を享受できる稀有なポテンシャルを持つエリアです。豊島区都市づくりビジョンにおいては、池袋駅周辺に次ぐ副都心の核に位置づけられており、造幣局跡地や補助 81 号線沿線など、続々と新しいまちづくりが起りつつあります。

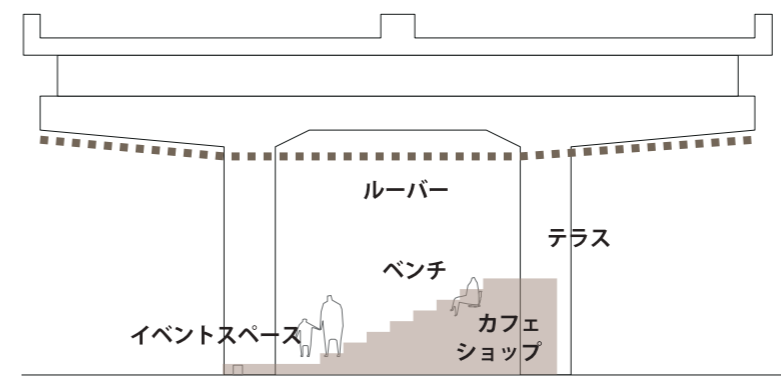
しかし現状では、首都高の巨大な構造体の存在感が強く、街の入口である地下鉄東池袋駅も南池袋サンロード商店街も高架下の暗い空間に追いやられているように見えます。

この提案は、高架の巨大さを逆手に取り、高架が生み出す長い高架下の空間を軒下空間（イーズ）と見立て、副都心の核にふさわしい魅力的な街の玄関口をつくるものです。



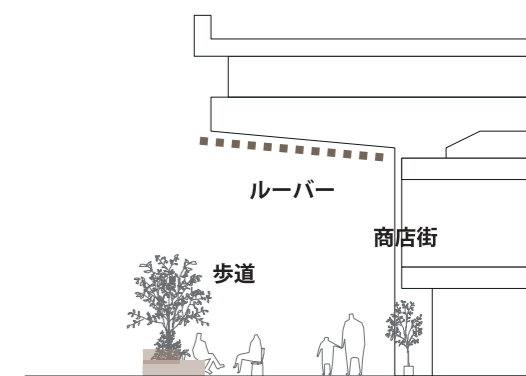
東池袋の街の玄関をつくる

高架下の地下鉄東池袋駅の両端の出入口とその間の歩道を、2核1モール型のオープンスペースとしてデザインします。2核に当たる部分は、それぞれ「環状5の1号線」と「補助81号線」という都市計画道路が通っており、近い将来街の輪郭が大きく変わる部分です。



軒下の広場 (2核)

地下鉄東池袋駅出入口周辺のもたまった空間には、高架の軒裏にルーバー天井と階段状のデッキの床を張り、明るく快適な半屋外広場をつくります。日差しや雨風をしのげるので、マルシェやキッチンカーによる販売、地域住民を巻き込んだイベントなど、あらゆるアクティビティを許容します。電車やバスの待合として、学校や会社帰りの憩いの場所として、既存の店舗の飲食スペースとして、多様な使われ方を想定することができます。



軒下の散歩道、ストリート (1モール)

高架の軒天にルーバーを張り、大規模な構造物のスケールをヒューマンスケールに近づけます。道路沿いには生け垣や低木を植え、走る車の存在が気にならない安全で落ち着ける街路空間を作ります。